

港区立図書館  
指定管理者候補者選考委員会  
報告書

平成 30 年8月1日

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会

# 目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について .....	1
II	選考経過について .....	3
III	選考対象者について .....	6
IV	選考結果について .....	6

## はじめに

本報告書は、港区立図書館の指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立図書館指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会は、このような視点を踏まえた上で、「区民の教育と文化の発展に寄与する」という図書館の設置目的を達成するため、事業運営、管理運営及び安全対策・危機管理等の点から提案をいただき、港区の図書館にふさわしい、効率的・効果的なサービスの提供を実現することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

このたびの港区立図書館指定管理者候補者選考では、応募事業者は1者にとどまりましたが、実績に基づいた様々な提案を受けることができました。

次回公募に向けては、複数事業者から応募が来るよう区から積極的な周知、情報提供等に努めてもらいたいと思います。

候補者となった事業者には、港区立図書館条例に基づき、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

平成30年8月1日

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会  
委員長 松本直樹

# I 選考した指定管理者候補者について

## 1 指定管理者候補者

事業者名	株式会社図書館流通センター
代表者	代表取締役 石井 昭
所在地	東京都文京区大塚三丁目1番1号

## 2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立三田図書館	東京都港区芝五丁目28番4号(平成33年度移転予定)
港区立麻布図書館	東京都港区六本木五丁目12番24号
港区立赤坂図書館	東京都港区南青山一丁目3番3号
港区立高輪図書館	東京都港区高輪一丁目16番25号
港区立高輪図書館分室	東京都港区高輪一丁目4番35号
港区立港南図書館	東京都港区港南三丁目3番17号

## 3 指定期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日（5年）

## 4 選考の理由

### 1 利用者ニーズの把握と対応について

- (1) 全国の受託館における利用者の苦情や相談、その対応内容を共有する体制が整えられているため、幅広い視点で利用者ニーズに対応することができます。各館の利用実態や施設に応じた利用者サービスの提供が評価できます。
- (2) ビジネス支援事業、学校との連携事業、電子書籍の導入等、実現可能性が高いと思われる新たな提案が評価できます。
- (3) 学校や幼稚園等子どもの施設との連携では、学校図書館への訪問支援や夏休みの宿題を調べ学習に結びつける事業等、具体的な事業提案が評価できます。

### 2 施設運営について

- (1) 公立図書館や港区立図書館の状況や特徴を正しく理解した上で、考え方や計画が示されている点が評価できます。
- (2) 職員の高い司書率、図書館経験者率等が示され、高水準の利用者サービス提供が期待できます。

また、労働環境については、職員の定着率や意欲を高める仕組みが導入さ

れており、経験のあるスタッフの長期就労が期待できるため、安定した図書館運営を見込むことができます。

### (3) 研修体制について

これまでの実績に基づくノウハウを活かし、専門的知識や技能の向上のための研修システムが充実しているため、専門的スキルの向上が期待できます。このため、利用者の専門的な要望に応えることができます。

## 3 災害対応

東日本大震災の経験を踏まえ、全社で災害対応マニュアルが整備されています。それをもとに、帰宅困難者一時受入等、港区の災害時対応に合わせたマニュアルを作成しています。研修、各館ごとの訓練実施等、震災対応に具体性があります。また、都内の他の受託館スタッフとの連携による協力体制や本社スタッフの応援体制が示されている点が評価できます。

## 4 公立図書館運営実績について

公立図書館運営実績が 519 館、内指定管理 341 館と十分な図書館運営経験を有しています。その経験、実績から、利用者サービス向上への取組、専門性の高いスタッフの配置、地域や学校との連携事業、グループでの図書館運営等、優れた具体的な提案がなされている点が評価できます。

## Ⅱ 選考経過について

### 1 選考の方法

#### (1) 第一次審査

応募事業者から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者を選考しました。

#### (2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、第一次審査と第二次審査とを併せた総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

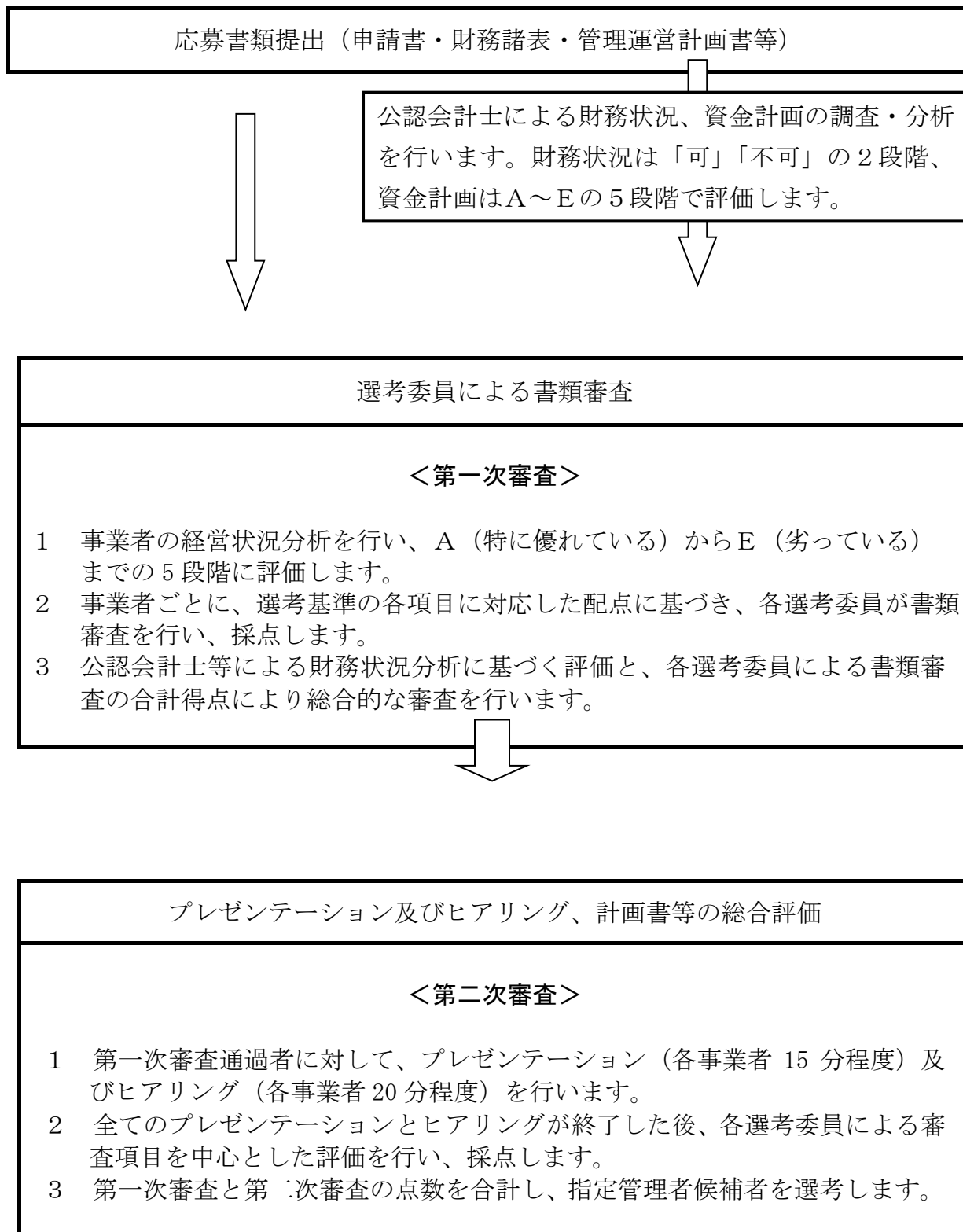
### 2 選考委員会の構成

委員長	松本 直樹	慶應義塾大学文学部准教授
副委員長	新宮 弘章	港区教育委員会事務局教育推進部長
委員	大谷 康晴	日本女子大学文学部准教授
〃	安形 輝	亜細亜大学国際関係学部教授
〃	庭井 史絵	慶応義塾普通部司書教諭
〃	木下 典子	港区教育委員会事務局教育推進部 生涯学習スポーツ振興課長
〃	篠崎 玲子	港区教育委員会事務局学校教育部 教育指導課統括指導主事

### 3 公認会計士

平山 友暁	Cenxus Consulting 株式会社
-------	------------------------

#### 4 選考の進め方



## 5 選考委員会等の開催状況及び経過

### (1) 第1回選考委員会

日時	平成30年4月5日(木曜日)	午後7時30分～9時
場所	生涯学習センター 2階	桜田記念室
議題	(1) 委嘱状の交付 (2) 委員の紹介 (3) 教育委員会事務局 教育推進部長あいさつ (4) 委員長の選出 (5) 議事	
	議題1	候補者の選考方法について
	議題2	公募要項について
	議題3	選考基準について
	議題4	その他

### (2) 公募手続き

① 公募要項配布	平成30年4月12日(木曜日)
② 公募説明会	4月18日(水曜日)
② 現地見学会	4月19日(木曜日)
③ 申請書類受付(第一次提出)	4月19日(木曜日)～5月10日(金曜日)
④ 質問書受付	4月12日(木曜日)～4月25日(水曜日)
⑤ 質問への回答	5月2日(水曜日)
⑥ 計画書類受付(第二次提出)	4月19日(木曜日)～5月25日(金曜日)

### (3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日時	平成30年6月14日(木曜日)	午後6時から午後8時
場所	港区役所7階	教育委員会室
議題	(1) 財務分析及び資金計画分析の結果について (2) 第一次審査について (3) 第二次審査について (4) その他	

### (4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日時	平成30年6月28日(木曜日)	午後7時から午後8時30分まで
場所	港区役所7階	教育委員会室
議題	(1) 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング) (2) 候補者の決定について	



### Ⅲ 選考対象者について

事業者名	所在地
株式会社 図書館流通センター	東京都文京区大塚三丁目1番1号

### Ⅳ 選考結果について

#### 1 第一次審査

##### (1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

##### ① 財務状況評価

応募事業者から提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性、リスク要因等について、数値及び比率分析により、「可」又は「不可」の絶対評価を行いました。

##### ② 資金計画評価

応募事業者から提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、事業計画との整合性等について数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

##### (2) 選考基準表に基づく採点

各評価項目に1点から5点を配分し（加算あり）、7名の選考委員ごとに評価した点数を合計して選考を実施しました。

第一次審査については、下記のとおりになりました。

事業者の名称	財務状況評価	資金計画評価	合計点数
株式会社図書館 流通センター	可	A	1,030

※合計点数は、1,400点満点

※財務状況評価基準

「可」または「不可」

※資金計画評価基準

A：超優良、B：優良、C：普通、D：要改善、E：破綻懸念

### (3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

#### 委員の主な意見

- ・提案内容は、不足している点もなく、一定のレベルが確保されている。
- ・各図書館での認知症サポーター養成講座実施等、福祉の視点を取り入れた工夫等が評価できる。
- ・各地域の特性を踏まえている。
- ・実績に裏打ちされた安定感がある。
- ・区の計画を念頭に提案している。
- ・地域（コミュニティ施設・生涯学習施設・社会福祉施設等）との積極的な連携が期待できる。
- ・利用者の安全・安心の確保に対する体制やマニュアルが整備され、定期的訓練も予定、提案されている。
- ・東日本大震災での岩手県立図書館で経験した災害発生時の対応やノウハウも期待できる。
- ・個人情報適切な取り扱いに対する体制が整っている。プライバシーマークの取得など。
- ・事業者の実績を見ても、悪くない。会社としての力もあると感じられる。もっと新たなサービスや事業を提案してもらえるとさらに良かった。
- ・子どもや学校の関係で実直ではあるが、新たな取組もあると良い。
- ・フルタイムスタッフの無期雇用化など、職員が安心して働ける制度になっているため、安定した館運営が見込める。
- ・自主事業の提案については、図書館の変化、学校の変化（学びの変化）への視座が加わると更に良い。

以上の点を総合的に勘案して、応募事業者を第一次審査通過者としました。

## 2 第二次審査

### (1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過事業者が15分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき20分程度のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

## (2) 採点結果

プレゼンテーション及びヒアリングの内容に基づき、選考委員ごとに評価した点数を合計し、第二次審査を行いました。

事業者の名称	合計点数
株式会社図書館流通センター	505

※合計点数は、700点満点

## (3) 選考経過

各委員が第一次審査通過事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

### 委員の主な意見

- ・地域特性をよく踏まえた施設運営を考えている。これまでの実績や質問への回答から安全・安心な館運営を期待できる。
- ・事業計画の提案において、調べ学習講座やコンクール等、具体的な説明があり、実現性は高い。
- ・新三田図書館の特性を理解しており、電子書籍導入を自主事業で行うなど、新たな事業への意欲がある。
- ・港区の状況をよく理解し、質問に対しても誠実に答えている。館長候補者の意欲が感じられた。
- ・デジタル書籍の購入、ビジネスセミナーの開催、図書館を使った調べる学習コンクールの地区コンクールの開催等、新たな提案が多くあったことは評価できる。
- ・新しいアイデアや地域の人との関わりについてもっと積極的なアプローチがあると更に良かった。

## V 最終選考結果について

全委員の採点した第一次審査の点数と、第二次審査の合計点を合算した総合点数をもとに最終選考を実施しました。

事業者の名称	総合点数	第一次審査点数	第二次審査点数
株式会社図書館流通センター	1, 535	1, 030	505

※総合点数は、2,100点満点

### 最終選考結果

第一次審査では、図書館指定管理者としての理念・方針、財務状況、運営実績数、建物の維持管理、利用者サービス、職員配置体制、危機管理体制等、総合的な安定感が評価されました。

第二次審査では、図書館指定管理者としての豊富な実績に裏打ちされた、具体的で実現性の高い提案が評価されました。多数の公共図書館受託業務で培ったノウハウを活用し、安全・安心な館運営が期待できます。

選考委員会の総意として、株式会社図書館流通センターを港区立図書館指定管理者候補者として選考します。